

【経済学部 アドミッション・ポリシー】

教育内容・特色

経済学・経営学・会計学の専門知識と分析力を身につけるための講義科目に加え、アクティブ・ラーニング(A L;学生自ら積極的に参加する授業形態)を中心とする演習・研究等の少人数・双方向型科目群が用意されています。これらの特色ある教育内容により、持続可能な社会の実現に貢献できる人材を育成しています。

経済学部には昼間コースと夜間主コースがあり、それぞれのコースに特色を持ったカリキュラムが用意されています。

求める人材

経済学部は、以下のような学生がそれぞれの個性を生かしながら学び、将来の進路・目標を考えてゆくことを期待します。

1. 経済問題・社会問題・持続可能な社会の実現に関心がある人
2. 論理的に考えること、もしくは数学を用いた分析が好きな人
3. 発言や行動が積極的で、民間企業、官公庁、NGOやNPO等の組織の中でリーダー的な役割を果たしたいと望む人
4. 英語をはじめとした外国語を駆使して、国際的な舞台で活躍したいと希望する人
5. 弱者にたいする思いやりと社会における公正を大切にして、人々のために働く情熱を持った人
6. 本学部での主体的な学修を通じて、持続可能な社会の実現に向けた新たな価値を地域・世界と共創する能力を身につけることに強い意欲を持つ人

なお、入学後の学修のため、入試方法に関わりなく、国語・数学・外国語の各教科科目に関しては、高等学校卒業レベルの基礎学力を有していることが求められます。

入学者選抜の基本方針

昼間と夜間主の各コースのアドミッション・ポリシーを参照ください。

【経済学部経済学科(昼間コース) アドミッション・ポリシー】

教育内容・特色

経済学・経営学・会計学の専門知識と分析力を身に付けるための講義科目に加え、アクティブ・ラーニング(A L;学生自ら積極的に参加する授業形態)を中心とする基礎研究・卒業研究等の少人数・双方向型科目群が用意されています。

専門教育は、経済学・経営学・会計学の学問分野を分類した5つの専門科目群に、アクティブ・ラーニング主体の実践型科目群、外部講師による社会連携型科目群等を加えた合計8つの科目群(ユニット)から成り、それらの組合せに応じて5つの大科目群(モジュール)が構成されます。同一モジュール内の科目を履修(系統履修)していくと領域内の専門性を高めることができ、複数のモジュールに跨って履修(横断履修)すると専門知識を体系的に広げていくことができます。具体的なモジュールとして、経済分析モジュール、政策モジュール、国際比較モジュール、組織経営モジュール、会計学モジュールがあります。学生は、自分が将来就きたい仕事を早くから意識して、細やかな履修指導を受けつつ、モジュールやユニットを適切に選択し履修することによって、自らの関心や進路に合致した専門的知識・能力を身につけ、それをさらに高め抜けていくことができます。これらの特色ある教育内容により、持続可能な社会の実現に貢献できる人材を養成しています。

求める人材

経済学部は、以下のような学生がそれぞれの個性を生かしながら学び、将来の進路・目標を考えてゆくことを期待します。

1. 経済問題・社会問題・持続可能な社会の実現に関心がある人
2. 論理的に考えること、もしくは数学を用いた分析が好きな人
3. 発言や行動が積極的で、民間企業、官公庁、NGOやNPO等の組織の中でリーダー的な役割を果たしたいと望む人
4. 英語をはじめとした外国語を駆使して、国際的な舞台で活躍したいと希望する人
5. 弱者にたいする思いやりと社会における公正を大切にして、人々のために働く情熱を持った人
6. 本学部での主体的な学修を通じて、持続可能な社会の実現に向けた新たな価値を地域・世界と共創する能力を身に付けることに強い意欲を持つ人

なお、入学後の学修のため、入試方法に関わりなく、国語・数学・外国語の各教科科目に関しては、高等学校卒業レベルの基礎学力を有していることが求められます。

入学者選抜の基本方針

・一般選抜(前期日程)

5～6教科7～8科目の大学入学共通テストを課し、高等学校卒業レベルの幅広い基礎学力を評価します。個別学力検査では、国語・数学・外国語の中から2科目を課し、経済学部における学修の基盤となる科目の理解度と応用力を評価します。

・学校推薦型選抜Ⅱ(大学入学共通テストを課すもの)募集方法 A

4教科4科目の大学入学共通テストを課し、高等学校卒業レベルの幅広い基礎学力を評価します。さらに調査書・推薦書・志望理由書および面接により、経済・社会問題および持続可能な社会の実現にたいする知識・関心と思考力・表現能力・コミュニケーション能力・勉学意欲・適性を総合的に評価します。

・学校推薦型選抜Ⅱ(大学入学共通テストを課すもの)募集方法 B

5～6教科7～8科目の大学入学共通テストを課し、高等学校卒業レベルの幅広い基礎学力を評価します。さらに調査書・推薦書・志望理由書および面接により、経済・社会問題および持続可能な社会の実現にたいする知識・関心と思考力・表現能力・コミュニケーション能力・勉学意欲・適性を総合的に評価します。

・私費外国人留学生選抜

日本留学試験とTOEFLまたはTOEICの成績提出を課し、入学後の学修に必要な基礎学力と日本語能力・英語能力を評価します。また小論文により、経済学部における学修に必要な知識・思考力・読解力・文章表現力を評価します。さらに書類審査と面接により、経済・社会問題および持続可能な社会の実現にたいする知識・関心と思考力・コミュニケーション能力・勉学意欲・適性を総合的に評価します。

・国際バカロレア選抜

書類審査により、成績評価証明書・自己推薦書・評価書を通して、経済学部における学修に必要な基礎学力と自己表現力・意欲を評価します。

学力の3要素対応表

入試区分	知識・技能		思考力・判断力・表現力等の能力		主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	
一般選抜(前期日程)	○	大学入学共通テスト	◎	個別学力検査(国語, 数学, 外国語)	☆	調査書
学校推薦型選抜Ⅱ	○	大学入学共通テスト 調査書	◎	面接(口述試験を含む)	○	面接(口述試験を含む) 調査書・推薦書・志望理由書

(注) ◎は特に重視する要素, ○は重視する要素, ☆は総合的な判断となる要素

各要素に対する資料は、「主とする資料」であり、それ以外の要素でも活用する場合がある。

【経済学部経済学科(夜間主コース) アドミッション・ポリシー】

教育内容・特色

経済学・経営学・会計学の専門知識と分析力を身につけるための講義科目に加え、アクティブ・ラーニング(A L; 学生自ら積極的に参加する授業形態)を中心とする演習等の少人数・双方向型科目群が用意されています。

1年次の専門基礎科目によって経済学・経営学・会計学の基礎知識を体系的に学修した後、2年次以降の専門教育科目および3年次の演習科目を通して、専門性を高めていきます。2021年度からは法学部夜間主コースと共同で地域人材育成プログラムを立ち上げ、両学部の一定数の専門教育科目を共通専門科目と位置づけた教育プログラムを編成しています。

入学してくる学生の学修目的に合わせた履修コース制がとられており、総合学修コースでは経済・経営・会計分野の幅広い知識と専門性の獲得を目指し、実践力強化コースでは経済・経営・会計分野の専門性と法学分野の専門性の修得によって実践力強化を目指します。

さらに意欲を持った学生が専門性や分析力を磨くための制度として、「テーマ学修」ならびに「昼間コース演習履修」の制度が設けられています。これらの特色ある教育内容により、持続可能な社会の実現に貢献できる人材を養成しています。

求める人材

経済学部は、以下のような学生がそれぞれの個性を生かしながら学び、将来の進路・目標を考えてゆくことを期待します。

1. 経済問題・社会問題・持続可能な社会の実現に関心がある人
2. 論理的に考えること、もしくは数学を用いた分析が好きな人
3. 発言や行動が積極的で、民間企業、官公庁、NGOやNPO等の組織の中でリーダー的な役割を果たしたいと望む人
4. 英語をはじめとした外国語を駆使して、国際的な舞台で活躍したいと希望する人
5. 弱者にたいする思いやりと社会における公正を大切にして、人々のために働く情熱を持った人
6. 本学部での主体的な学修を通じて、持続可能な社会の実現に向けた新たな価値を地域・世界と共創する能力を身につけることに強い意欲を持つ人

とくに夜間主コースでは、経済的な事情などで昼間働きながら勉強を続けたいという意欲のある人、あるいは既に社会で一定の役割を果たしているながら、なお自己の可能性を追求し能力を向上させたいと考える人を歓迎します。

なお、入学後の学修のため、入試方法に関わりなく、国語・数学・外国語の各教科科目に関しては、高等学校卒業レベルの基礎学力を有していることが求められます。

入学者選抜の基本方針

・一般選抜(前期日程)

4教科4科目の大学入学共通テストを課し、高等学校卒業レベルの幅広い基礎学力を評価します。個別学力検査では、国語・数学・外国語の中から1科目を課し、経済学部における学修の基盤となる科目の理解度と応用力を評価します。

・学校推薦型選抜推薦 I (大学入学共通テストを課さないもの)募集方法 A・B

小論文により、経済学部における学修に必要な知識・思考力・読解力・文章表現力を評価します。さらに調査書・推薦書・志望理由書および面接により、経済・社会問題および持続可能な社会の実現にたいする知識・関心と思考力・コミュニケーション能力・勉学意欲・適性を総合的に評価します。

・社会人選抜

小論文により、経済学部における学修に必要な知識・思考力・読解力・文章表現力を評価します。さらに志望理由書等の書類審査および面接により、経済・社会問題にたいする知識・関心と思考力・コミュニケーション能力・勉学意欲・適性を総合的に評価します。

学力の3要素対応表

入試区分	知識・技能		思考力・判断力・表現力等の能力		主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	
一般選抜(前期日程)	○	大学入学共通テスト	◎	個別学力検査(国語, 数学, 外国語)	☆	調査書
学校推薦型選抜 I	☆	調査書 英語資格・検定試験	◎	小論文 面接(口述試験を含む)	○	面接(口述試験を含む) 調査書・推薦書・志望理由書

(注) ◎は特に重視する要素、○は重視する要素、☆は総合的な判断となる要素

各要素に対する資料は、「主とする資料」であり、それ以外の要素でも活用する場合がある。